資料－4
第3回検討会
平成19年3月7日

平成１９年度事業内容（案）

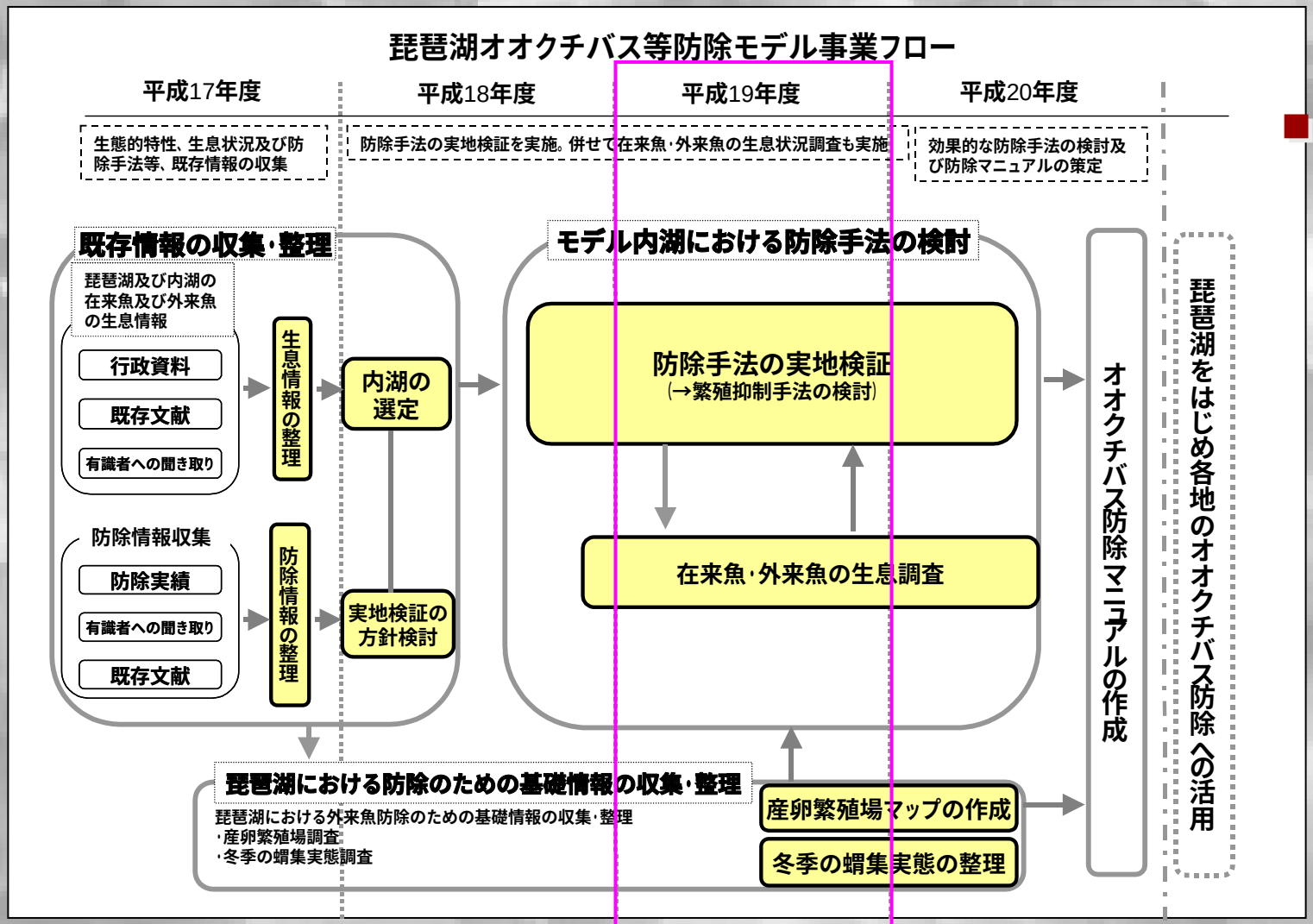
第3回
琵琶湖オオクチバス等
防除モデル事業調査
検討会

２００７年3月7日

平成１９年度事業内容（案）

- モデル事業全体のスケジュール
- 内湖での駆除・調査計画（案）
- 琵琶湖での調査計画（案）

モデル事業全体のスケジュール



- 3ヵ年計画の2年目

モデル内湖の環境情報図の作成用情報の収集計画（案）

- 空中写真撮影→行わない〔撮影済み〕
- 植生調査→行わない〔済み〕
- 水温ロガー測定→〔改良継続〕

野田沼での駆除・調査計画（案）

- ポイント：琵琶湖-野田沼の移動調査を重点的に行うとともに、効率的な駆除を実施する

- 人工産卵床→行わない〔省力化〕
- 自然産卵床の探索駆除→〔継続〕
- 小型三枚網による成魚・親魚駆除→〔継続〕
- 仔稚魚駆除→〔継続〕
- 仔稚魚調査→行わない〔省力化〕
- 魚類相調査→〔継続〕
- 〔新規〕集魚灯による仔稚魚調査
- 〔新規〕一枚網による成魚・親魚駆除
- 〔新規〕琵琶湖ー野田沼の魚類移動調査

- 平成１８年度は、人工産卵床では有効に活用できなかった。野田沼のような礫質環境が多い場所では、人工産卵床の誘引効果が十分に発揮できなかったものと考えられる。

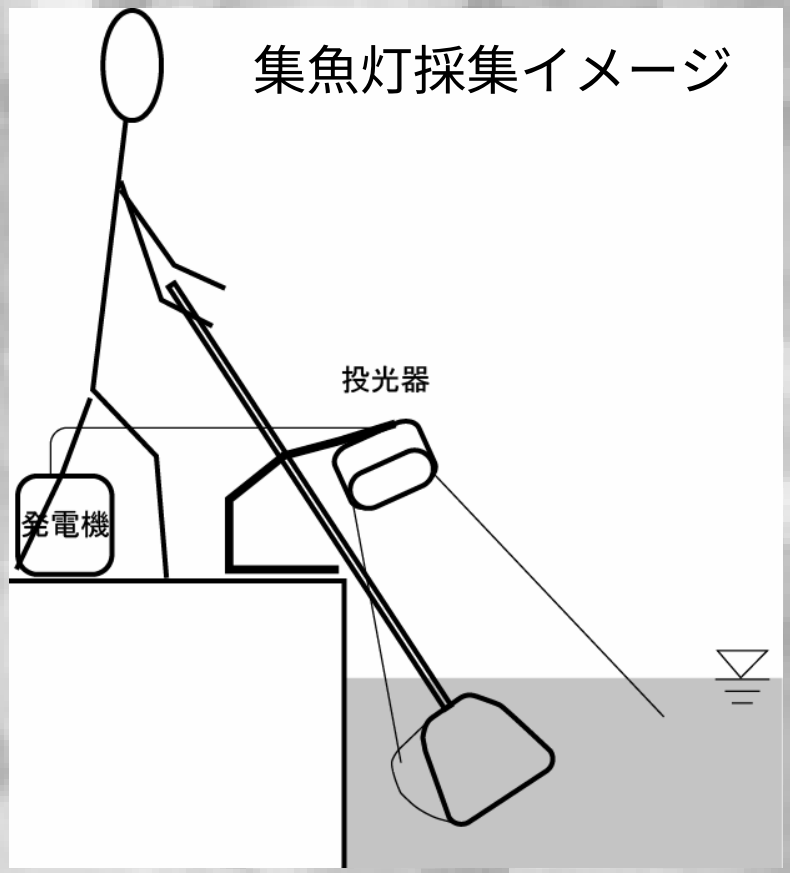
産卵床駆除効率の手法比較　[野田沼]

	駆除産卵床数	
	オオクチバス	ブルーギル
人工産卵床	2	5
自然産卵床	0	41

- 仔稚魚調査は、平成１８年は先行事例（滋賀県琵琶湖研究所）との比較のために実施したが、駆除を並行して実施中であったため過去との比較検討は難しかった。

- 〔新規〕集魚灯による仔稚魚調査

- 平成１８年度には、オオクチバス、ブルーギルの繁殖成功について、孵化仔魚期の情報が得られなかった。これは、全て日中の調査であり、夜間に弱い光をあてることで孵化仔魚が得られるとの松岡委員からの情報（第2回検討会）に基づき、調査のために集魚灯採集を行う。



- 〔新規〕一枚網による成魚・親魚駆除

- 平成１８年度には、オオクチバス成魚の駆除効果がみられなかった。漁協への聞き取り調査により、オオクチバスの漁獲には一枚網の刺網が極めて有効であるとの情報が得られたため、小型三枚網と併用する。

一枚網によるオオクチバスの駆除
（海津漁協にて撮影）

- 〔新規〕琵琶湖ー野田沼の魚類移動調査

- 平成１８年度で残された課題の多くが、琵琶湖と野田沼の魚類（成魚、仔稚魚）の移動状況が不明であることに由来していたため、琵琶湖と野田沼の魚類移動状況について調査を行う。

魚類移動調査イメージ

乙女が池での調査計画（案）

- 魚類相調査→〔継続〕

琵琶湖での調査計画（案）

- 漁獲統計整理→行わない〔省力化〕
- 漁協聞き取り調査→〔改良継続〕

各漁協へのアンケート調査を実施

- 冬季蝟集調査→〔改良継続〕

彦根旧港湾においてより実践的な駆除を実施